

天然ガス転換触媒研究会

1. 研究会の目的

天然ガスの高度化学変換に関連する触媒化学研究の基礎分野，ならびに C1 化学に関連した産業技術の分野で活動する産学官の研究者を中心に，2000 年度に「天然ガス高度利用触媒研究会」が発足し 2 期 6 年間，その後「メタン関連触媒研究会」・「GTX 研究会」・「天然ガス化学的有効利用研究会」・「天然ガス転換触媒研究会」と名称を変更して，天然ガスの高度利用に関連する，① 研究調査，学会活動，② 講演会やシンポジウムの開催，③ 天然ガス関連の触媒研究の普及と発展，を目的として継続した研究会活動を行ってきた。

メタンならびにエタンからのガス転換化学がシェール革命により注目され，さらには二酸化炭素の資源化（CCU）が注目される中，これら低級炭化水素や合成ガスから化学品，エネルギー製品を作る触媒プロセスは益々重要となる。2020 年 1 月 21 日には，世話人代表が策定に関わった「革新的イノベーション戦略」が閣議決定され，さらには同年 10 月 26 日には菅総理所信表明演説において，本会世話人代表が WG 座長を務めている「グリーンイノベーション戦略」に基づいて，2050 年温暖化ガス排出を日本全体でゼロとすることがうたわれた。グリーンイノベーションへの ESG 投資のうねりが高まる中で，本研究会のシーズが今後さらに重要なものとなっていくと考えられる。

2. 研究会活動の概略，動向，展望

本研究会の 2020 年度の活動内容は以下の通りである。

- 1 第 126 回触媒討論会セッション参加（2020 年 9 月 16-18 日，オンライン）ならびに特別企画として研究会横断若手シンポジウムに協力した。セッションとしては，一般講演 23 件となり活況であった。特別企画でも天然ガスから 1 件の講演（名工大廣田氏）を行った。
- 2 本研究会の傘下で若手研究者が主体となって行ってきた「次世代天然ガス転換を考える若手勉強会」は，本年度はコロナ禍のため中止している。
コロナ禍が明けたら再度精力的な活動を行いたいと考えている。

3. 世話人代表

関根 泰（早稲田大学 先進理工学研究科）
電話 03-5286-3114 E-mail ysekine@waseda.jp